

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（機械科）・原動機	単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーについて、歴史、現状、将来の問題点などについて理解する。 ・流体の基礎、流体機械の種類や機構を理解する。 						
使用教材	<p>【教科書】原動機（実教出版）</p> <p>【副教材】2009年度版 工業高校機械科就職問題（一ツ橋書店）</p>						
評価の観点・評価規準	「関心・意欲・態度」	「思考・判断」	「技能・表現」	「知識・理解」			
	<p>原動機に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的実践的な態度を身につけている。</p>	<p>原動機に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。</p>	<p>原動機に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。</p>	<p>原動機に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における意義や役割を理解している。</p>			
評価方法	<p>目標を踏まえ、原動機に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。</p>						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの利用の歴史 <ul style="list-style-type: none"> (1)身近なエネルギーの利用 (2)熱エネルギーの利用 ・こんにちのエネルギーと動力 <ul style="list-style-type: none"> (1)エネルギーの変換 			<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な道具や機械をつくり、人力、畜力、風力、水力などの身近なエネルギーの利用について学ぶ。 ・熱そのものの利用と、光源としての利用であり、熱エネルギーを動力に変換する熱機関について学ぶ。 ・自然界にあるエネルギーと、動力への変換について学ぶ。 			
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・流体機械の基礎 <ul style="list-style-type: none"> (1)流体の基本的性質 (2)圧力 (3)管路の流れ (4)流体のエネルギー <ul style="list-style-type: none"> ・ベルヌーイの定理 			<ul style="list-style-type: none"> ・効率よく流体機械を設計するために、流体の基本的な性質を学ぶ。 ・流体がもつ機械的エネルギーと内部的エネルギーの関係について学び、エネルギーの保存則についても理解する。 			
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・内燃機関のあらまし <ul style="list-style-type: none"> (1)内燃機関の分類と利用 ・熱機関の基礎 <ul style="list-style-type: none"> (1)温度と熱量 (2)熱エネルギーの仕事 			<ul style="list-style-type: none"> ・流体の性質について、それぞれの特性や特徴、流体機器について学習します。 ・内燃機関について、基礎となる熱力学を学習します。 ・熱力学を活かした内燃機関のそれぞれの特性や特徴を学習します。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・原動機は、動力についての学習であり、機械科の基礎・基本科目のひとつです。関心・意欲を持って取り組んでください。 ・流体や熱力学の学習では、いろいろな場面で計算力や読解力が必要となります。授業では問題集を用いて、それらの基礎についても学習します。 						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（電気工学コース）・環境とエネルギー	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	・現在利用されているエネルギー資源の現状と地球環境問題について学び、未来のエネルギーや発電方式、省エネ技術に活用できる能力と態度を養う。						
使用教材	【副読本】 自作教材（プリント）						
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	エネルギー資源について（生活に必要なエネルギー）に興味や関心を持ち、意欲的に学習しようとする。さまざまなエネルギーと地球環境問題を積極的に解こうとする。身近な事象に対しても探求しようとする。	さまざまなエネルギーの基礎的な知識や技術を活用し、具体的な事象を適切に判断し解析しようとする能力を身につけることができたか。さまざまなエネルギーについて深く考えている。	エネルギー資源の基礎的な技術を新たな視点から発展的に捉え、実際に活用する能力と実践的な態度をもち、工業技術として具現化する能力を身につけている。	各種のエネルギー資源について、地球環境問題や新エネルギーを見識した上で、現代社会における電力技術の意義や役割を理解している。			
評価方法	目標を踏まえ、環境とエネルギーに対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	地球と環境と人間 ・環境問題とは ・京都議定書 地球環境の調査 ・大気・水・土壌の環境と生態系 ・地球温暖化における問題 産業における排出ガス問題			・地球環境について、各国が取り組んでいる問題を理解し、地球規模の環境問題を考えるとともに、生活に必要なエネルギーが排出する排出ガス等について学習を深めます。			
2 学期	資源の利用と環境問題 ・化石燃料 ・バイオマス燃料 環境の保全技術と管理 ・生活改善の技術（省資源化） ・CO ₂ 削減			・エネルギー資源として、可採年数の限られた化石燃料（石炭、石油、LNG、ウランなど）と、次世代のバイオ燃料等について学習します。 ・電力の需要と供給について、地球環境問題と将来のエネルギー問題を視野に入れ、その現状を理解する。			
3 学期	発電方式 ・水力・火力・原子力 ・風力発電 ・太陽光発電 ・燃料電池			・エネルギーの利用法として、省エネ技術を応用した新エネルギー発電等の仕組みについて理解を深めます。			
学習上の留意点	他の専門科目での知識が習得されていることを前提として授業が進められます。また、地球環境や新エネルギー等の最新の技術に興味関心を持ち、しっかりと学習する必要があります。						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（ロボットコース）・機械工作	単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・工業材料の性質について理解する。 ・工業材料の加工方法について理解する。 ・合理的な生産方法を企画し、実際に活用できる能力と態度を身につける。 						
使用教材	<p>【教科書】機械工作1（実教出版） 機械工作2（実教出版）</p> <p>【副教材】自作教材（プリント）</p>						
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	<p>機械工作に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的実践的な態度を身につけている。</p>	<p>機械工作に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。</p>	<p>機械工作の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。</p>	<p>機械工作の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。</p>			
評価方法	<p>到達目標を踏まえ、「関心・意欲・態度」「思考・判断」は、日々の授業に取り組む姿勢を中心に評価します。「技能・表現」「知識・理解」は、課題、定期考査およびノート提出を中心に評価します。これらを総合的に判断し評価します。</p>						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・機械工業の歩み ・機械材料の性質 ・鋳造 ・塑性加工 			<ul style="list-style-type: none"> ・機械工業の歴史を学びます。 ・機械材料の性質および種類について学習します。 ・鋳造について学習します。 ・塑性加工について学習します。 			
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接 ・表面処理 ・切削加工 ・砥粒加工と特殊加工 			<ul style="list-style-type: none"> ・溶接について学習します。 ・めっきやコーティングといった材料の表面処理について学習します。 ・旋盤やフライス盤といった切削加工について学習します。 ・砥石車を使った加工やレーザなどを使った特殊な加工方法について学習します。 			
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・生産の計画と管理 			<ul style="list-style-type: none"> ・生産方法や生産数などといった角度より必要となる工作方法や工作機械について、経済的で合理的な計画を考え、技術者としての態度を身につけます。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にしてください。 ・与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出してください。 						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業(工芸デザイン科)・デザイン史	単位数	2 単位	履修学年	3 年	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間による造形の始まり・意義を知る。 ・産業革命以降に生まれた「デザイン」の概念を理解する。 ・これからのデザインやものづくりの基本理念を考え、創造する力を養う。 					
使用教材	【教科書】 デザイン史(電気大) 【副教材】 自主教材					
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度 デザイン・造形の歴史に共感し課題意識を持つ。社会における創造的な活動・発展の過程を学習する。	思考・判断 近現代デザイン史に至る造形の歴史から課題を見いだす。世界史的視野に立って多面的・多角的に考察する。国際社会の変化を踏まえて創造する。	技能・表現 古代・中世・近現代デザインの歴史についての諸資料を活用する。歴史的現象を追究し、その過程や結果を応用する。	知識・理解 古代・中世・近現代デザイン造形の基本的な事柄を研究する。歴史的現象と関連付けながら理解し、その知識を身につける。		
評価方法	目標を踏まえ、デザイン史に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」、「知識・理解」、「技能・表現」については提出物と定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。					
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			
1学期	造形の始まり 日本 原始～古代 西洋 原始～古代		<ul style="list-style-type: none"> ・人類の造形の始まりとその意義を理解する。 ・仏教の影響を受けた古代文化の特徴とその造形の違いを理解し、工芸品や建築などを通して、華やかな貴族文化が生んだデザインの特徴を知る。 ・西洋の伝統的な歴史と風土とともに、造形の交流、発展、移り変わりについて、工芸品や建築などを参考に学習する。 			
2学期	日本 中世 ・平安～室町時代(文化と造形の特徴) 近世 ・安土、桃山～江戸時代(文化と造形の特徴) ・明治、大正時代(文化と造形の特徴)		<ul style="list-style-type: none"> ・日本独自の文化を形成していった中世文化について理解する。 ・貴族文化から武士や庶民文化へと変化していった造形の特徴を読み取る。 ・西洋文化の影響を受けながら、鎖国による日本独自の上方、江戸の庶民文化を生み出した造形の特徴を知る。 			
3学期	西洋 近代 ・近代デザインのはじまり アーツ・アンド・クラフツ運動、 アール・ヌーヴォー等のデザイン運動 ・近代デザインの成立と展開 バウハウス、アール・デコ等 現代 ・世界のデザインの潮流と我が国のデザイン		<ul style="list-style-type: none"> ・世界に大きな影響を与えた西洋における近代デザイン運動の流れを知る。 ・イギリス産業革命により近代のデザイン運動がはじまる過程をアーツ・アンド・クラフツ運動を中心に理解する。 ・第一次大戦後にドイツで設立されバウハウスや、近代美術の運動を絡めながら、デザインが社会的に認められ展開する過程を理解する。 ・環境や国際交流、人権に目を向けたデザインが必要となっていくことを知る。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出してください。 ・予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にしてください。 					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	ビジネス基礎	単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	・ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し、経済社会の一員としての望ましい心構えを身につけるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を養う。				
使用教材	【教科書】ビジネス基礎 (実教出版) 【副教材】検定問題集				
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	ビジネスの諸活動に広く関心をもち、その意義や役割の理解及び諸問題の探求を目指し、経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身につけている。	ビジネスに関する諸問題を経済生活との連からの確に把握し、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身につけ、経済社会の一員としてビジネスの技術を適切に活用している。	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。	
評価方法	目標を踏まえ、ビジネス基礎に対する「関心・意欲・態度」と「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」については、日々の授業を中心に評価を行う。「知識・理解」については試験をもとに評価を行う。具体的には、日々の授業態度、提出物、小テスト、考査等をもとに、総合的に判断し評価をする。				
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	商業の学習ガイダンス 経済と流通の基礎 経済のしくみとビジネス・社会の変化とビジネスの発展・経済活動と流通	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性の意味及びその大切さについて学習し、自分自身を知り、力強く生きていく姿勢を身につける。 ・ビジネスの発展による利点について学習する。 ・ビジネスにおける国際化をイメージする。 			
2 学期	ビジネスの担い手 ものの生産者・サービスの生産者・小売業者 卸売業者・物流業者・金融業者・情報通信業者 企業活動の基礎 ビジネスと企業・資金調達・企業活動と税 雇用・企業理念 ビジネスと売買取引 売買取引の手順・代金決済	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化がビジネスにおいて重要であることを理解し、情報化によりビジネスがどのように変化したかを学習する。 ・サービス経済化の意味を学習する。 ・科学技術の進展に伴うビジネスの発展を確認確認する。 ・生産者の役割や種類、小売業者のチェーン化について学習する。 ・情報ネットワーク化と物流のシステム化から物流業者の動向を学習する。 ・商取引における契約の重要性を理解し、売買取引の締結と手順や、履行の意義などについて学習する。 			
3 学期	売買に関する計算 売買に関する計算の基礎、応用 ビジネスとコミュニケーション コミュニケーション・ビジネスマナー 情報入手と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人とのコミュニケーションについて関心を持ち、相手の文化や習慣を理解する態度を養う。 ・簡単な英語表現を用いて学習する。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・商業の学習はビジネスの学習であり、このビジネス基礎はビジネスの全体像を学ぶ科目です。そのため、卒業後の進路もふまえて簿記の基礎やワープロの基礎についても学習します。 ・基礎的な知識や技術、心構えを身につけ、進路を考えるうえで、この学習を役立ててください。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	商業(経営科)・ビジネス情報	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。 ・ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなどエンドユーザコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を養う。 						
使用教材	【教科書】ビジネス情報 新訂版 (実教出版)						
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について関心を持ち、ビジネス情報を適切に分析、処理して活用しようとする。	情報を収集、処理するために具体的なデータをを用いて、実践的な実習をおこない処理された情報を分析しようとしている。	表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアなど適切なソフトウェアを用いて、ビジネスで活用できるシステムを作り出そうとしている。	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、それを実践するための知識を身につけている。			
評価方法	目標を踏まえ、ビジネス情報に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	1	ビジネスと情報		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける情報化の推進に関する基本的な知識を習得し、この科目を学ぶ目的やねらいを理解する。 ・表計算ソフトウェアを用いてさまざまなビジネス情報を分析し活用するための知識、技術を身につける。 			
	2	情報通信のネットワーク					
2 学期	3	表計算ソフトウェアの活用		<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアのマクロ機能を用いて、日常の業務を自動化するための知識、技術を習得する。 ・リレーショナル型データベースを作成し活用するための、知識、技術を習得する。 			
	4	データベースソフトウェアの活用					
3 学期	5	ソフトウェアを活用したシステム開発		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス情報システム開発に関する基本的な知識と技術を習得する。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会を生きぬくうえで必要不可欠な情報モラルをしっかりと身に付けましょう。 ・マナーを守ってパソコンの実習を行い、期限内に提出課題を完成させましょう。 						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	福祉(生活福祉)コミュニケーション技術	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関する知識と技術を習得する。 ・社会福祉援助活動に活用する能力と態度を養う。 						
使用教材	【教科書】コミュニケーション技術(実教出版)						
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	対人関係に関する援助やコミュニケーションに興味を持ち、授業に意欲的に取り組んでいるか。	コミュニケーションの技法や人との関係作りについて、日常生活と重ね合わせて考えることができたか。	コミュニケーションの基本である傾聴・共感・受容の態度で対話ができるか。	社会福祉援助活動は信頼関係の構築を基盤とし、法や制度を適用した社会生活を総合的に援助する活動であることを理解できたか。			
評価方法	目標を踏まえ、社会福祉援助技術に対する「関心・意欲・態度」と「思考・判断」、「技能・表現」、については、日々の授業を中心に評価を行います。「知識・理解」については試験を中心に評価します。具体的には、日々の授業態度、提出物、定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	介護におけるコミュニケーション ・コミュニケーションの意義と役割 ・コミュニケーションの基本技術 ・援助の技法とコミュニケーション			・コミュニケーションの意義と役割を理解し、人間関係の形成や他者理解、自己理解について学びます。 ・傾聴や受容、共感など、コミュニケーションの基本技術について学びます。 ・個別的な援助、集団的な援助の概要について学びます。			
2 学期	サービス利用者や家族とのコミュニケーション ・サービス利用者や家族との関係づくり ・サービス利用者に応じたコミュニケーション			・利用者や家族との関係づくりについて学びます。 ・手話や点字をはじめ、利用者の状態に応じたコミュニケーション技法を学びます。			
3 学期	介護におけるチームのコミュニケーション ・記録 ・チームによる連携 ・スーパービジョンの技法			・記録の意義や目的、活用などを学びます。 ・情報共有の必要性や他職種との関わりについて学びます。 ・スーパービジョンの必要性や面接方法について学びます。			
学習上の留意点	・対人援助の基本である援助技術・コミュニケーションなどに関する知識と技術を学び、実践力を身に付けます。授業には常に意欲的に取り組みましょう。 ・普段の自分自身のコミュニケーションを振り返り、学習に取り組みましょう。						